

## 令和4年度 第2回 伊勢市障害者施策推進協議会（自立支援部会） 結果概要

開催日時	令和4年8月25日（木曜）13時30分～15時00分
開催場所	伊勢市役所東館5-4会議室（Web会議）
出席委員	嶋垣 智之 部会長、青木 哲也 委員、浦田 宗昭 委員、大田 桃子 委員、 岡田 まり 委員、奥村 比呂美 委員、川口 幸生 委員、 富田 真実子 委員、中村 和人 委員、山本 美穂 委員、 峯山 しいな 委員、山本 明伸 委員
事務局	高齢・障がい福祉課長・障がい福祉係長 福祉生活相談センター職員1名、 障がい者地域相談支援センター長3名
傍聴者	3名

### 1 報告事項

#### (1) 各プロジェクトチームの取組状況報告

各チーム長より、以下のとおり報告。

##### 【人材確保・養成チーム】

(取組状況)

- ・介護職員のインタビュー記事を広報いせ12月号に掲載予定。
- ・伊勢市のサービス事業所の求人需要を把握するためのアンケートを実施予定。
- ・冬頃にSNSを活用した求人方法に関する勉強会を開催予定。

(委員からの意見等)

- ・アンケートの目的と内容の深い検討が必要。課題解決のための取り組み案のニーズと有効性を確認するためのアンケートとした方が有益なのではないか。  
→実態把握だけでなく事業所の中で出される意見も取り入れたいと思う。

##### 【就労支援チーム】

(取組状況)

- ・進路指導を担当する高等学校教師向けの障がい者就労支援ガイドブックを検討。
- ・就労体験サポート事業の評価、分析の方法を検討。
- ・伊勢市版就労アセスメント様式を検討。

(委員からの意見等)

- ・ガイドブックについて、高等学校側とともにガイドブックの内容を検討する場を設け、相互理解を深めたいうえで公表をした方が有益なのではないかと思う。  
→現場の教師に確認してもらえると良いと思う。事務局と相談しながら検討していきたい。

##### 【医療的ケア児者支援チーム】

- ・喀痰吸引3号研修の市内研修開催及び来年度に向けての制度設計を検討。

- ・他市のモデル事業を整理し、医療的ケア児者の緊急時の受入対応を検討。
- ・医療的ケア児子育てハンドブックの制作を検討。
- ・災害時の避難情報（備蓄等）の周知に向けた情報整理。
- ・日常生活用具、福祉用具をリユースする仕組みを検討。

（委員からの意見等）

- ・3号研修とはどのようなものか？  
→特定の方に対して喀痰吸引をするための研修。

### 【相談支援ネットワークグループ】

（活動状況実績）

- ・4月 年間計画等を確認。
- ・5月 高齢障がい者の支援（高齢分野との連携）。
- ・6月 地域生活支援拠点。
- ・7月 制度理解と業務改善。
- ・8月 他分野連携。

## （2）地域生活支援拠点等事業の進捗状況報告

事務局より、地域支援拠点等事業について報告。

### 【報告要旨】

- ・当初のスケジュールから全体的に遅れているが、9月以降にモデルケースを運用する方向で検討している。

## 2 協議事項

### （1）各プロジェクトチームの取組方針の承認

各プロジェクトチームの取組内容に対して、以下の意見等が出された。

（委員の意見等）

#### 【人材確保・養成チーム】

- ・確保、養成、定着それぞれの働きかけるポイントを絞って、それぞれが連動するような取り組みをもう少し整理できれば良い。
- ・国等が示す制度を各事業所が活用できるようにバックアップするための取り組みを検討していきたい。
- ・人材養成には欠かせないものである。伊勢市独自での研修について、研修ニーズの把握方法や、法定研修のフォローアップなど、仕組みを検討する必要がある。
- ・介護保険の居宅部会のようなものを立ち上げ、人材養成ができないか検討している。

#### 【就労支援チーム】

- ・就労支援の範囲は非常に広く課題も多岐にわたるため、一括りにできないが、

一般就労を増加することが就労支援チームの大きなミッション（＝雇用側へのアプローチ）であることを確認する。

- ・当初、企業表彰制度の議論もあったが、まずはガイドブック等を作成し、周知啓発が進んでから企業表彰制度を実施することで話が進んでいる。

## （２）相談支援ネットワークグループからの提案

「地域生活支援拠点等事業における緊急対応プランや事前登録シート（アセスメント）の作成にかかる報酬制度創設」の提案をいただく。

### 【提案要旨】

- ・緊急対応プランの作成など新たな業務については、1件あたり別途報酬が出されることで計画相談の充実を図っていくことが必要だと考えている。

（委員からの意見等）

- ・このことについて、県から統一的な見解は出ているのか。  
→特に出していない。
- ・伊勢市がモデル事業となるような前向きな検討をしてほしい。

## （３）各委員からの提案

委員より、以下の提案をされた。

### 【提案要旨】

- ・虐待対応マニュアルの更新（作成）と公表  
→毎年度自立支援部会とともにマニュアル更新の確認や改善を図ることで虐待対応において各関係機関の理解や連携を得られるようにする。また、虐待対応から見える地域の課題を自立支援部会とともに定期的に抽出するとともに、その解消を図っていく。
- ・地域の相談支援体制の強化  
→基幹型や委託相談等の3層構造に期待される役割を確認し、客観的な書式等を用いて自立支援部会において定期的にその現状と今後を確認・検討する。  
→3層構造以外に、主任相談支援専門員や地域生活支援拠点コーディネーターの役割等も含めた検討を行う。

以上、（１）～（３）の取組方針及び提案について承認された。

## 3 その他

事務局より、資料に基づき以下の取り組み等について説明。

- （１）インクルーシブな遊具整備の取組状況
- （２）ビジネスパーク伊勢の令和4年度登壇者の確認
- （３）9月4日開催 共生社会バリアフリーシンポジウム in 伊勢の案内